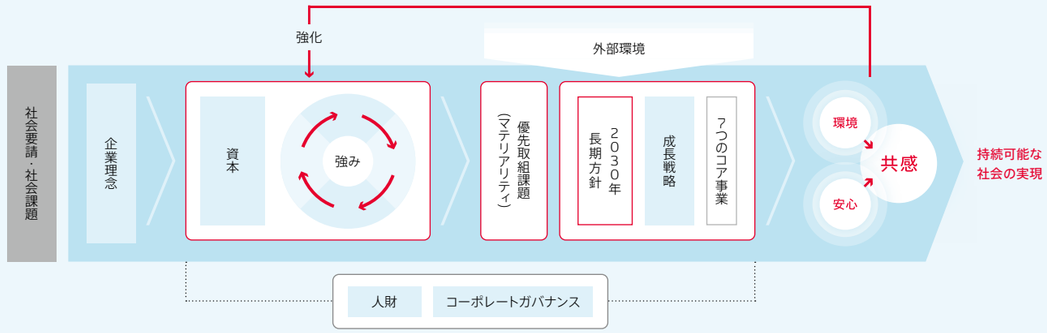
積み上げてきた資本

デンソーが事業成長の歴史とともに積み上げてきた資本は、事業活動を支え、将来に向け企業価値を高めていく源となります。人的資本、製造資本、知的資本、自然資本、社会・関係資本を強化し、財務資本の成長・成熟につなげ、成長を牽引するデンソーならではの強みをさらに強固なものにしていきます。この資本強化のサイクルを通じ、今後も持続的な成長を図るとともに、持続可能な社会の実現に向け、確かな価値を提供します。



財務・非財務資本と事業成長・社会課題の解決とのつながり

資本	インプット	資本強化に向けた取り組み	事業成長			アウトプット（目標）	アウトカム／関連するSDGs
			新価値の創出	利益の拡大	資本コストの低減		
財務資本 P.42–49	2023年度 総資産：**9兆934億円** 売上収益：**7兆1,447億円** 営業利益：**3,806億円**	• 収益体質の強化 • 低収益資産の圧縮 • 資本構成の改善 • 市場との対話	• メリハリのある投資による新規・成長領域への大胆な投入 • パートナー連携も含むスピーディな研究開発による次世代技術開発 • 非車載領域（エネルギー・FA・食農）	• 事業ポートフォリオ入れ替えによるROIC向上 • CASE領域での成長実現による収益拡大 • 規律ある投資管理による固定費の抑制 • 政策保有株式の縮減や手元資金の圧縮による資産効率の向上	• 借入活用や株主還元強化による資本構成の改善 • IR活動強化による株主資本コストの低減	**財務** • ROE：**12%レベル**／営業利益率：**12%レベル**／売上収益：**7兆5,000億円**（2030年度） • DOE：**3.3%以上**、長期安定的に向上 • 電動化領域売上収益：**1兆7,000億円**／ADAS領域売上収益：**1兆円**（2030年度） • 半導体事業規模：**7,000億円**／ソフトウェア事業規模：**8,000億円**（2035年度） • エネルギー・FA・食農領域売上収益：**3,000億円**（2030年度） **非財務** • 環境・安心価値提供 モノづくりCO₂排出量：**カーボンニュートラル**（2035年度） 自社安全製品の死亡事故シーンカバー率：**100%**（2035年度） • 多様性を活かし、挑戦・成長する組織 社員エンゲージメント肯定回答率（単体）：**78%**（2025年度） 女性管理職人数（単体）：事技系 **200人**、技能系 **200人**（2025年度） • 社会からの信頼 コンプライアンス：重大法令違反**ゼロ** 情報セキュリティ：重大事件**ゼロ**	**自然と人が共生するサステナブルな地球環境の実現** • 環境負荷ゼロ社会（気候変動対応／地球環境の汚染防止） • 限りある資源の有効利用（資源の循環利用／水資源の保全） **安心して暮らせるモビリティ社会の実現** • 交通事故死亡者ゼロ • 交通事故低減 **社会のウェルビーイング向上** • 自由快適な移動の提供 • 産業の労働生産性向上 • 食の安心・安定供給 • 持続可能なサプライチェーンの構築 **社員のウェルビーイング向上** • 労働災害のない職場づくり • 多様性・公平性・包摂性（DE&I）の推進 • 新たな価値創造をリードする人財の育成 **社会と信頼関係の基盤となる企業行動の実践** • 誠実な企業行動（コンプライアンス） • 情報セキュリティの確立 • 責任ある調達活動（人権の保護）	3 すべての人に健康と福祉を 4 質の高い教育をみんなに 5 ジェンダー平等を実現しよう 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 8 働きがいも経済成長も 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 10 人や国の不平等をなくそう 11 住み続けられるまちづくりを 12 つくる責任 つかう責任 13 気候変動に具体的な対策を 16 平和と公正をすべての人に 17 パートナーシップで目標を達成しよう
人的資本 P.52–56	グローバル社員数：**約16万人** 人的資本投資対前年度増加額： 2023年度：**290億円** 2024年度：**350億円（予想）**	• 社員エンゲージメント向上に向けた取り組み（社員のキャリア実現支援、風通しの良い職場づくり） • 人財ポートフォリオ変革（人財獲得・育成・最適配置）	• 多様な個性・価値観・経験の相互作用によるイノベーション創出	• 成長領域への人財シフトによる利益増大 • 社内人財の最適シフトによるリソーセス最適化 • ITデジタルツールを高度活用する人財の育成を通じた効率化・利益増	• 役割・成果に基づく評価・報酬制度による高生産性人財増加 • エンゲージメント向上に伴う生産性向上		
製造資本 P.57–59	2023年度 設備投資額：**3,946億円** グローバル地域生産拠点数：**25カ国127工場**	• グローバル生産供給体制の構築 • デンソー流デジタルツイン工場 • モノづくりサーキュラーエコノミーの実現 • 物流改革（サプライチェーンの全体最適化、自動化） • モノづくり人財の育成	• エネルギー循環システムや資源再利用によるサーキュラーエコノミーの実現 • 革新的価値を生み出すモノづくり人財の育成	• グローバル生産供給体制での拡販・利益追求 • デジタルツイン工場による高品質・高効率生産 • データ分析に基づく生産性向上 • 規律を持った投資判断によるコスト低減 • 省エネ・省資源への貢献	• 強靭な供給網構築による供給リスク低減 • サプライチェーン全体の最適化を通じた安定したモノづくり • 事故や災害がない安全なモノづくり現場		
知的資本 P.60–67	2023年度 研究開発費：**5,509億円** 特許保有数（日本・海外）：**約39,000件** 2023年度→2030年度 ソフトウェア開発人財：**6,000人増強**	• ソフトウェア人財の採用強化・育成 • ソフトウェア開発による無形価値創出 • 半導体開発の強化・ソフトウェア開発の効率化 • 先端研究の加速 • パートナー企業・産官学連携による知の交流	• 先端技術研究による世界一・世界初製品の創出 • アカデミア・サイエンスの先端・基盤技術知見交流によるイノベーション創出	• 成長領域投資によるCASE／半導体競争優位獲得 • 自動化などによるソフトウェア開発効率向上	• 他社活用可能特許の増産による競争優位維持・確立 • 全社視点での知財ポリシー、ガバナンス、リソース最適化 • 情報セキュリティの強化		
自然資本 P.68–73	CO_2排出量削減投資計画：**1,000億円**（2022年度～2025年度）	• エネルギー使用量の低減に向けた徹底的な省エネ活動 • 経済合理性を考慮した再生可能エネルギーの導入 • リサイクルなどによる自然資本の効率的利用 • 廃棄物／排出物削減による環境負荷のミニマム化	• 自動車の技術を応用した、水素の生成・利活用などの革新的な省エネ技術の創出	• 収益力との両立を実現するカーボンニュートラルなモノづくり • 環境規制の加速に対する電動化製品の開発・普及	• 環境負荷低減活動による将来の物理的環境リスクへの対応コスト低減 • 資源の有効利用による資源枯渇リスクの低減		
社会・関係資本 P.74–77	2023年度 サプライヤー数：**約7,540社** 投資家・アナリストとの対話：**延べ約1,750社** 2010年度以降累計 アライアンス件数：**90社**	• 各ステークホルダーとの対話強化 • 盤石な企業基盤の構築	• ビジネスパートナーとの連携による新たな価値の創出	• お客様・社会の共感を得る製品・ソリューションの提案 • サプライヤーとの関係強化による安定供給、リスク管理による生産コストの低減	• 適時・適切な情報提供による株主・投資家との情報の非対称性の解消 • サプライチェーン全体でのサステナブル調達（人権・環境など）の推進 • 法令順守の徹底、適切な競争環境の維持		